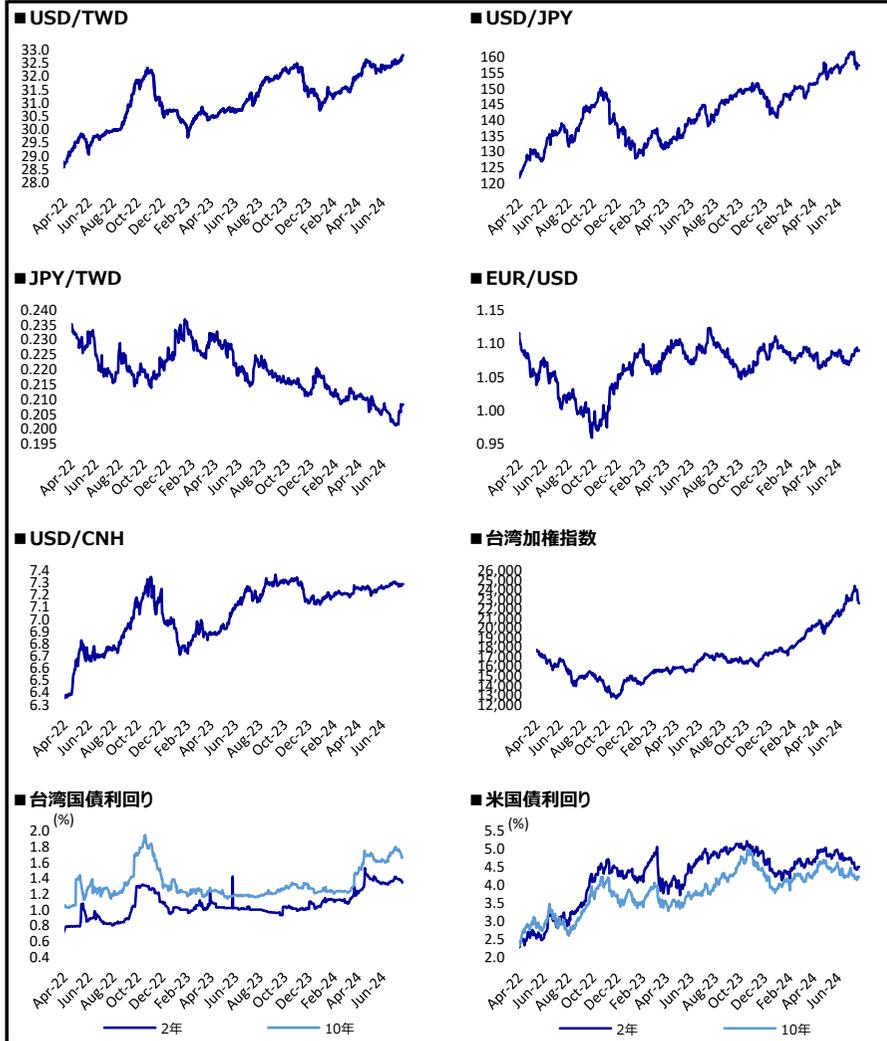


市場動向



先週の市場動向

**■USD/TWD**  
先週のドル/台湾ドルは上昇。週初7/15は32.550でオープン後、米大統領選におけるトランプ氏の当選確率が高まる中、ドル買いが進むも、輸出業者によるドル売りが見られ32.50台後半で揉み合いの推移。7/16は、人民元や韓国ウォン等のアジア通貨売りが進む中、台湾ドルも連れ安となる展開となり32.60台前半まで上昇。7/17は、トランプ氏の発言力が高まる中、地政学リスクを警戒する動きから台湾株が下落。台湾ドル売り圧力が高まったが、引けにかけて上値を押さえる動きが見られ、32.60台前半で推移。7/18は、台湾株の下落が継続していたものの、輸出業者による外貨売りが見られ、32.60台前半で売り買い交錯の推移。7/19は、前日海外時間に発表された米7月フィラデルフィア連銀製造業景況感指数が市場予想を上回る結果となり米金利が上昇していた他、台湾上場企業より配当金支払いが行われていたこと、外国人投資家による台湾株売りがまとまって見られていたことが背景となりドル買いが加速し、一時約8年振りの高値となる32.798まで上昇。最終的には前週比0.5%ドル高台湾ドル安の32.730で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式売り越し額は1,665.3億台湾ドル。

**■USD/JPY**  
先週のドル/円は下落。週初7/15は157.90でオープン後、目立った材料に欠ける中、158円を挟み揉み合いの推移。7/16は、海外時間に発表された米6月小売売上が市場予想を上回る結果となったことを受けてドル買いが進み、一時158.85まで上昇。7/17は、トランプ氏円安に対する懸念が示されたことなどを背景に、ドル売りが加速し156円近辺まで急落。7/18は、前日海外時間からドル売り圧力が続く中、一時155.38まで下落。海外時間に入り、現職のバイデン大統領による大統領選撤退が懸念され不確実性が高まっていたことを背景に、リスクセンチメントが悪化。ドルが買い戻され、157円台半ばまで上昇。7/19は、前日海外時間に発表された米経済指標が堅調なものとなったことを受けて、ドル買いが進み157円台半ばで底堅く推移。最終的には前週比0.1%ドル安円高の157.50で先週の取引を終了。

今週の見通し

**■USD/TWD** 予想レンジ：32.700-33.000  
今週は底堅い推移を見込む。米大統領選を控え不確実性が高まる中、台湾株の下落が進む場合、ドルが買われやすいであろう。

**■USD/JPY** 予想レンジ：156.00-159.00  
今週は揉み合いの推移を見込む。来週に日米中銀会合を控え、方向感に欠ける展開となるであろう。

今週の予定

7/22 (MON)	台湾6月失業率、台湾6月輸出受注
7/23 (TUE)	台湾6月鉱工業生産
7/24 (WED)	米7月PMI景況感指数、米6月新規住宅販売件数
7/25 (THU)	日6月サービスPPI、米6月耐久財受注、米第2四半期GDP、米第2四半期PCE
7/26 (FRI)	日6月東京都部CPI、米6月PCE、米7月ミシガン大消費者景況感指数

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。